

2023年度 ドコモ市民活動団体助成事業 活動成果報告書

2024/9/27

| 団体名  | NPO法人維新隊ユネスコクラブ  | 活動タイトル   | 食事つき無料自習室「STUDY CAMP」の運営と新規自習室開室に向けたマニュアルの検証・修正  |  |
|--|--|--|--|--|
| 望ましい社会状況および団体のビジョン（社会的役割と活動基盤）   |  |  | ■ 活動風景   |  |
| <p>●地域の望ましい社会状況(ビジョン)</p>  | <p>当団体が望む社会状況とは、生まれ育った環境（家庭・学校環境）によって、学習や進学が損なわれることがない社会の実現である。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の授業が理解できないが家庭の低所得によって塾通いができず分からないままになっている。</li> <li>・自宅に自習環境がなく、試験勉強ができないため希望する進路へチャレンジする機会が得られない。</li> <li>・学級崩壊や不登校で学校が学習の場として機能しておらず、進学に悪影響を及ぼしている。</li> </ul> <p>といった困難な状況を打破し、希望する進路にチャレンジする機会を平等に得られるよう、オンラインを含めた学習のセーフティネットが広く行きわたった社会、なおかつ進学において親の学校外教育への経済的負担が必然ではなく、子ども自身の努力で進学できることが当然、という社会になることである。</p>   |  | <p>■ 活動風景</p>  |  |
| <p>●団体の社会的役割(ミッション)</p>  | <p>当団体の社会的役割は「困難な環境に生まれ育っている子どもたちを学習面から支援し、希望する進路に挑戦する機会が得られるようサポートする」ことである。そのため、以下のことに取り組む。</p> <p>(ア)食事つき個別指導型無料塾「ステップアップ塾」での学習指導と、「自ら学ぶ人」になるよう学習計画立案-実行の習慣づけを指導する場の運営</p> <p>(イ)食事つき無料自習室「STUDY CAMP」を通じた家に学習環境がない子どもへの自習の場の提供</p> <p>(ウ)(ア)(イ)を利用する子ども連への教室・自習室での食事提供とフードバンク等食支援情報の紹介</p> <p>(エ)無料カウンセリングの実施等メンタルケア</p> <p>(オ)奨学金・助成金などの情報の提供</p> <p>(カ)オンラインを含めた授業の質の改善に向けて挑戦し続けること</p>   |  | <p>西新宿自習室<br/>スタッフに勉強の<br/>質問をする利用<br/>者</p>  |  |
| <p>●団体の活動基盤</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● (A) 望ましい人的資源</li> <li>1.学生ボランティア講師：毎年120名以上登録、2.食材運搬、食事づくり、教室運営、自習室管理者など運営スタッフ：5名/教室、3.広販スタッフチーム：5名、4.webアプリ管理運営チーム：5名、5.常勤事務スタッフ：3名（フンドレイジング含）、6.保健士スタッフ2名、7.支援情報担当者2名</li> <li>● (B) 望ましい物的資源</li> <li>8.自習室及び塾教室として使用可能なスペース、9.食品や教材等の支援団体及びその寄贈が受けられる他団体とのネットワーク、10.テキスト印刷の協力、ノート、文房具等の寄贈が必要に応じて受けられるネットワーク、11.無料で利用できる教材、12.教室及び自習室に設置する利用者向けPC等端末、13.授業運営・教室管理・授業改善に向けた実験的取り組みに耐えられる通信端末</li> <li>● (C) 望ましい活動資金</li> <li>14.賛助会費によって管理費がほぼまかなわれ、個人会費及びパートナー会費＋自主事業収入＋寄付によって事業費のほとんどがまかなわれる資金状態、15.自習室の拠点を増やすことで開催地での認知度と寄付額を増やし、更に新たな拠点を増設・展開できる資金状態。</li> <li>● (D) 望ましい情報</li> <li>16.拠点新設時におけるノウハウ<br/>運営を通じて得られたノウハウを開発マニュアルとスタッフマニュアル・スタッフ育成プログラムとしてまとめた情報、受益者向けPC等苦手意識克服に向けた使い方マニュアル</li> <li>17.受益対象者向け支援情報<br/>食事・給付金および奨学金や保護者の雇用など受益対象者向けのまとめ情報</li> </ul> |  |  |  |
| ■ 活動報告   |  | ■ 1年間の目標に対する達成状況(まとめ)  |  |  |
| <p>◆STUDY CAMPの運営</p> <p>自宅に自室や学習机などの自習する環境がないといった困難を抱える小学生～高校生に向けて、都内二か所で軽食や教材・コピー機等がある無料の自習室を平日夜に毎日開催し、学習の場と居場所の提供を年間220日行った。</p> <p>◆支援情報提供</p> <p>子ども食堂の情報・フードパントリー情報・宅配型食品パッケージ等の食支援情報や奨学金情報など支援情報を集め、毎月更新して自習室内での紹介をする他、利用者や保護者へメールで情報発信を毎月行なった。</p> <p>◆STUDY CAMPスタッフの育成</p> <p>STUDY CAMPの運営スタッフを募集し、室内の管理を通じて利用者の子どもの様子を見守り、教育格差等の社会問題への理解を深め、問題解決に取り組む担い手の育成を行った。スタッフ自身でマニュアルの作成を行い、ある程度自立して運営ができていた状態になったが、新たに自習室を開催する際に中心的な役割を担う管理者の育成には至っていない。</p> |  | <p>◆無料自習室STUDY CAMPの運営</p> <p>・年間開催数：西新宿・新江古田共に220回／のべ利用者数：1584人<br/>・稼働率：27.7%（昨年より4.2%増ではあるが目標未達成）<br/>・利用者アンケート：定期利用者5人から回答を回収<br/>「落着いて勉強できる時間が増えた」：5段階評価で4.4<br/>「落ち着いて食事ができる時間が増えた」：5段階評価で2.4</p> <p>◆利用者への支援情報の提供</p> <p>A)年間で17世帯が食支援情報の活用を検討、11世帯が利用<br/>B)年間で22世帯が奨学金情報の活用を検討、6世帯が申請し5世帯が利用した。</p> <p>◆STUDY CAMPスタッフの育成</p> <p>①自習室管理者は現在1名。新たな管理者の育成は未達成。<br/>②年間の募集で新規運営スタッフ7名参加し4名が継続参加、スタッフは全7名になった。</p> <p>◆活動基盤強化</p> <p>①A) 賛助会員は年間で新たに10人(社)増加し全30社に（未達成）<br/>B)パートナー会員は2社に（目標達成）②助成事業3団体から採択（目標達成）</p> |  |  |
| <p>■ 事業を通じて得られたノウハウ</p>  |  | <p>■ 望ましい社会状況を達成するための課題</p>  |  |  |
| <p>①利用者が増えましたが、依然として申込から利用に至らない人が散見される。申込から利用に至るまでのハードルとなる理由として「利用方法がわからない」「雰囲気わからないので不安」「場所がわからない」という理由がアンケートから明らかになった。これら回答を踏まえて、説明会や動画制作を準備している。</p> <p>②行政区によって利用者募集の情報発信の方法にかなりばらつきがある。受益者の手元まで一斉に情報を届けることが難しい地域では、発信の拠点となっている場所を的確に把握し、関係を築いておく必要がある。</p> <p>③食や奨学金の支援情報について、利用しなかった理由として「利用の仕方がわからなかった」「忙しくて申し込みできなかった」の2点が多く挙げられた。具体的な利用の手順や、申し込んだ方からの感想を集めて案内したい。</p>   |  | <p>当団体が望む社会状況とは、生まれ育った環境（家庭・学校環境）によって、学習や進学が損なわれることがない社会の実現である。そのため、学習環境及び生活・進学に関する情報に、利用者である子ども達自身が簡単にアクセスできる拠点を全国に展開することが必要であると考えている。更には、この社会課題への理解者を増やし拡充に向けた理解と支援を獲得していくだけでなく、設置された拠点を受益者が利用しやすい状況を整え、支援者と受益者が共に未来の社会を当事者であるという認識の下、格差は正に取組み必要がある。</p> <p>・スタッフ育成と会員拡充を通じて、社会課題に関わる人を増やす。<br/>・自らが学習支援拠点の運営者となる担い手の発掘・育成<br/>・申込者がすぐに利用を開始しなくなるような、利用方法の説明動画作成<br/>・支援情報へのアクセス～利用までの導線説明書や利用者の感想等の作成</p>   |  |  |
| <p>この1年間の活動を通じて</p>  |  | <p>■ 活動成果のアピールポイント（自由記入）</p>   |  | <p>を達成しました。</p>  |
| <p>■ 受益者の具体的な変化（自由記入）</p>  |  | <p>■ 受益者の具体的な変化（自由記入）</p>  |  | <p>・高校受験を控えて週3日程度利用していた生徒3人が、無事に第一志望校に進学した。<br/>・大学受験を控えて自宅退入をしている人が、行政の支援機関からの紹介により利用を始めて、ほぼ毎日通える学習場所の確保につながった。</p> |